

G X 経済移行債発行に関する 関係府省連絡会議（第3回）資料

令和5年9月

GX経済移行債の発行について

- 世界初の国によるトランジション・ボンド（名称は、ICMA指針を準拠する形で『クライメート・トランジション・ボンド』）を発行し、国内外の民間によるトランジション・ファイナンスを一層拡大していく。
- 発行体である日本政府は、トランジション・ボンド等に係る国際標準に基づき、資金用途等をまとめた「フレームワーク」を策定し、これらの基準への準拠について外部評価期間からセカンドパーティオピニオン（SPO）を取得を目指す。
- GX経済移行債の外部評価機関について、有識者による評価委員会を実施し、国際的な機関としてDNV、国内の機関としてJCRを選定。

トランジション・ボンドとしてのGX経済移行債の発行

スケジュール

ICMA：欧州を中心に約60か国、500以上の金融機関等から構成される国際団体

ICMA
(金融機関等による国際団体)

「グリーンボンド原則」
「トランジション・ファイナンス・ハンドブック」
(資金用途・レポートバック等に係る基準)

日本政府

発行体

外部評価機関
(格付会社等)

ICMA基準を踏まえた
①フレームワークの策定・公表、
②債券発行
③取組の進捗に係るレポート

フレームワークや債券発行がICMA基準に準拠している旨のSPO

認証付きの
フレームワーク・
債券発行

事業者

資本市場

GX経済移行債による政府支援を受けるに当たり、GXへの挑戦をコミット

(2023年)

9月上旬 外部評価機関を決定【済】

9月/10月 SPO取得に向けた作業

秋 フレームワーク・SPO公表

SPO取得を経て、本年度内に初回発行

【参考】評価機関の概要

D N V

- 本社：ノルウェー・オスロ（日本含め世界100カ国、300事務所あり）
- 設立：1864年。150年以上の歴史がある伝統的な国際評価機関。
- トランジション社債の実績は最多。

J C R（日本格付研究所）

- 本社：日本・東京
- 設立：1985年
- 2017年よりグリーンボンド等ESG債の第三者評価業務を開始。トランジション社債の実績多数。

「フレームワーク」の策定

- 評価機関のSPOを得たトランジション・ボンドの発行にあたり、我が国の移行戦略やそれに基づく資金使途等をまとめた「フレームワーク」を策定し、トランジション・ボンドとしての適格性・信頼性を市場に示す必要がある。
- 「フレームワーク」については、現在、「GX経済移行債発行に関する関係府省連絡会議」で具体化をしており、今後、秋に向けてSPOを取得する取組を加速化する。

（１）フレームワークに記載すべき項目（ICMAの基準）

- ✓ **発行体の移行戦略** …… 日本政府としての目標、計画、施策等を説明
- ✓ **調達資金の使途** …… 調達資金で使う予定の分野を記載
- ✓ **調達資金の管理** …… 「フレームワーク」で提示した資金使途に充当されているかを説明
- ✓ **レポートニング** …… 資金充当レポート + インパクトレポート（環境改善等）を定期報告

（２）フレームワーク策定に係る意思決定プロセス

- 『GX経済移行債発行に関する関係府省連絡会議』で議論し、フレームワーク案を決定。
 - 内閣官房GX推進室長を議長とし、金融庁・財務省・経産省・環境省が参加。
 - 局長級及び課長級にて、関係省庁間で方針を議論・論点を整理、具体案を策定。
- 『GX実行会議』に報告。
 - 総理を議長とし、関係閣僚と有識者が入る会議で内容を確認。

「フレームワーク」における「資金使途」の基本的考え方（案）

- 本年7月に閣議決定した「脱炭素成長型経済構造移行推進戦略」（GX推進戦略）は、我が国のカーボンニュートラルに向けた「移行戦略」となるものであり、これに基づいて、資金使途として「適格クライテリア」及びその「適格事業例」を整理することが適切。
- 「GX推進戦略」に定められた取組の中から、民間のみでは投資判断が真に困難な事業であって、排出削減と産業競争力強化・経済成長の実現に貢献する分野への投資に優先順位をつけて、資金使途の対象としていく。
- 調達した資金は、GX投資の実現に向けて長期・複数年度にわたり支援策を講じ、民間事業者の予見可能性を高めていくべく、研究開発から社会実装まで各分野・技術の技術リスク・市場リスク等に応じて補助、金融支援の原資などに充当していく。

資金使途の例

製造業の構造転換	✓ 水素還元製鉄等の革新的技術の開発・導入、炭素循環型生産体制への転換 等
運輸部門のGX	✓ 次世代自動車の車両導入の支援 ✓ 次世代航空機の実証機開発、ゼロエミッション船等の普及に必要な支援 等
カーボンリサイクル/CCS	✓ カーボンリサイクル燃料に関する研究開発支援 等
省エネの推進	✓ 断熱窓の導入 等
再エネの主力電源化	✓ 次世代型太陽電池（ペロブスカイト）・浮体式洋上風力の導入拡大 等
次世代革新炉	✓ 新たな安全メカニズムを組み込んだ次世代革新炉
水素・アンモニアの導入促進	✓ サプライチェーンの国内外での構築 ✓ 余剰再エネからの水素製造などの研究開発・導入促進 等
電力・ガス市場の整備	✓ ゼロエミッション火力の推進 ✓ 海底直流送電等の整備 等